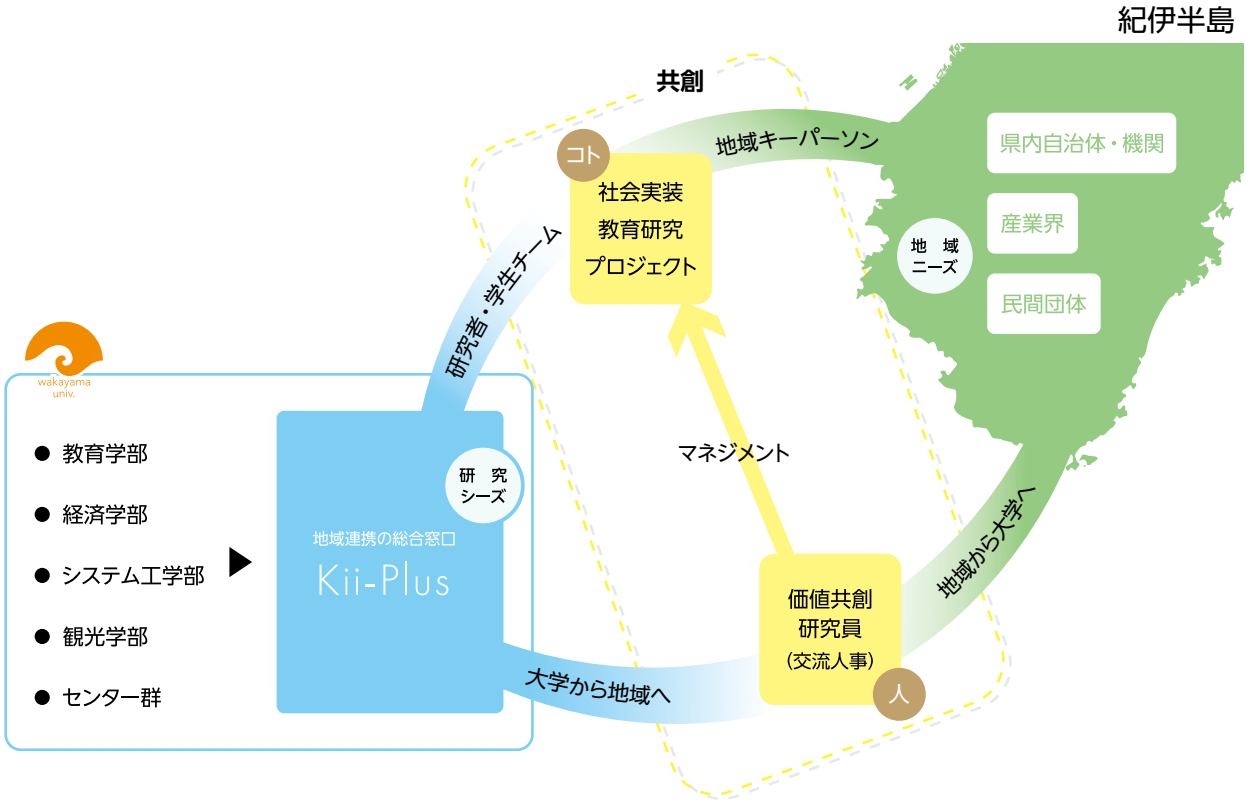
2020（令和2）年4月、従来の地域イノベーション機構、地域活性化総合センターの体制を一新し、紀伊半島価値共創基幹を設置いたしました。同基幹は、紀伊半島が抱える課題の解決と地域の事業発展について、研究成果の提供にとどまらず、自治体・企業・市民団体等との**共創**を通じた教育研究の展開により、地域社会の発展に寄与することを目的としています。

地域連携を“共創”型で進める3つのポイント

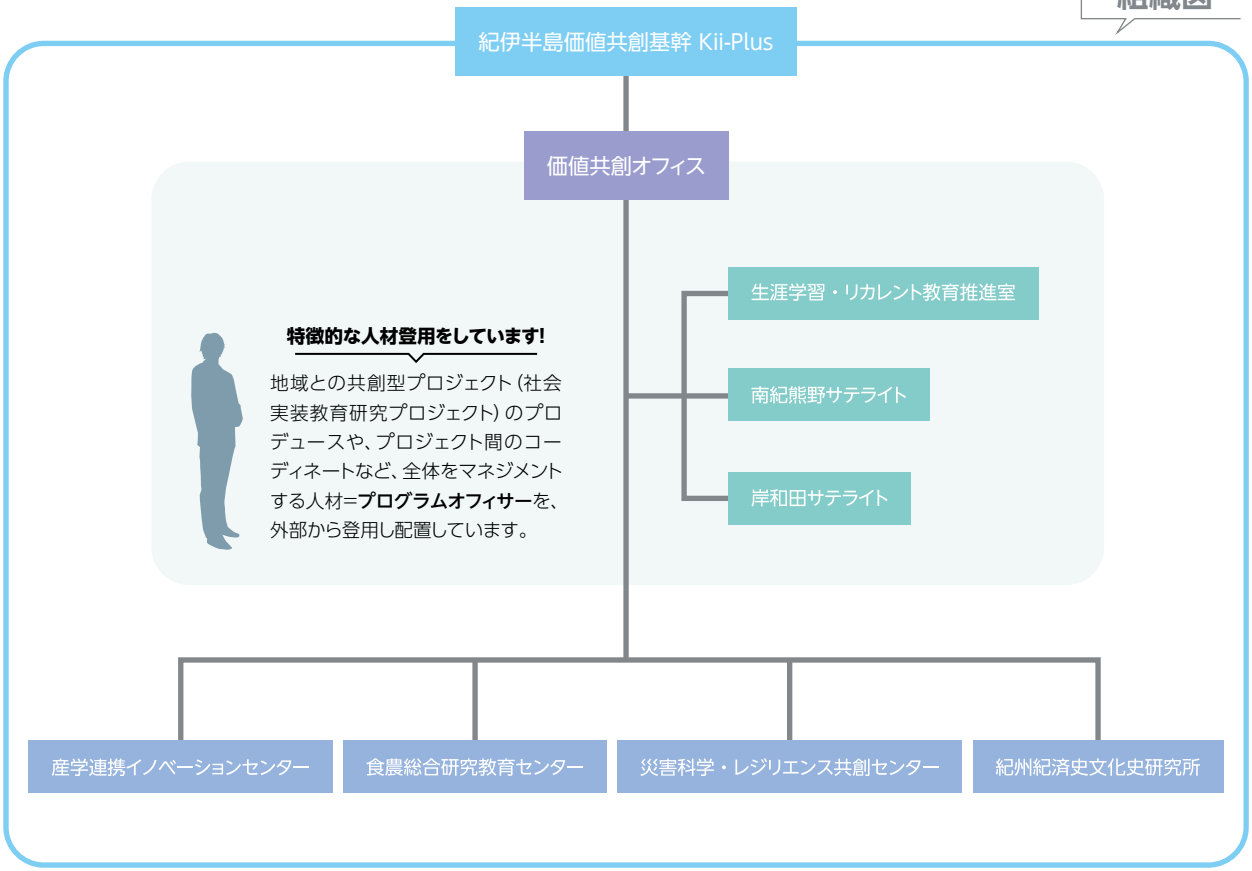
1	2	3
社会実装教育研究プロジェクト発足	**価値共創研究員による交流人事**	**地域連携の全学窓口機能**
地域と大学の繋がりを強固にしていくため「複数教員」と「地域のキーパーソン」によるチーム型プロジェクトを進めます。	地域ニーズを大学に持ち込んで共にプロジェクトを進める「価値共創研究員」を、自治体・企業・団体から受け入れ&派遣します。	地域から大学への相談窓口機能を果たし、案件内容に応じて関係各所へのコーディネートなどを行います。



地域課題の解決・地域価値の創造

基幹では3センター、1研究所、1室、2サテライトが、各専門領域を中心としながら、全学横断で自治体や地域の皆さまとの連携・連帯を元に「共創」して、地域課題に取り組んでいきます。

組織図



学生への支援

学生たちの地域活動を支援するスペースとして「Kii-Labo」を整備しています。
和歌山県や南大阪の自治体の観光パンフレットや情報誌の配架、地域からのお知らせなどの提供を行うほか、地域活動を行うグループの拠点として活用しています。

和歌山大学には多種多様な研究テーマに取り組む研究者が在籍します。
研究テーマや活動地域などをお調べの際にぜひ、ご活用ください。

研究者総覧
https://researchers.center.wakayama-u.ac.jp/search?m=home&l=ja

地域活動マップ
https://wadaimap.com

紀伊半島価値共創基幹の最新情報はこちらから
https://www.wakayama-u.ac.jp/kii-plus/